汎用アプリケーション監視装置　ＡＳＺ－Ｈ８０２　取扱説明書

目　次

１．準備（ＩＰアドレスの設定）
２．ウオッチドッグ時間の設定
３．アクセス方法

【1】準備（ＩＰアドレスの設定）

-- 汎用アプリケーション監視装置 --

（1）汎用アプリケーション監視装置　ＡＳＺ－Ｈ８０２（以下、ASZ-H802 と略記）の背面のコネクタに１０Ｂａｓｅ－Ｔケーブルを接続します。

（2）ASZ-H802　の背面のロータリ型ディップスイッチを「8」にし、電源をＯＮします。

-- パソコン側 --

（3）パソコンの「コントロールパネル」「ネットワーク」で、パソコン自身のＩＰアドレスを 128.128.128.1 に設定し、再起動します。

（4）付属ソフトウエア Aprikans.exe を起動します。

（5）「オプション」「Lan ボードの初期設定」を選択します。

「Lan ﾎﾞｰﾄﾞの IP ｱﾄﾞﾚｽ」「Lan ﾎﾞｰﾄﾞのﾎﾟｰﾄ番号」「ｹﾞｰﾄｳｴｲ･ｱﾄﾞﾚｽ」「ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ」を入力し，書き込みボタンを押します。

「Lan ﾎﾞｰﾄﾞのﾎﾟｰﾄ番号」は特別の理由がなければ、257 でお使い下さい。

RS232C の設定は、デフォルトのままにしておいて下さい。

（6）付属ソフトウエア Aprikans.exe を終了します。

（7）パソコンの「コントロールパネル」「ネットワーク」で、パソコン自身のＩＰアドレスを元に戻してから再起動します。

（8）ASZ-H802　の背面のロータリ型ディップスイッチを「１」にし、電源を再度ＯＮします。

【２】ウオッチドッグ時間の設定

（１）パソコンのＩＰアドレスを元に戻した後、付属ソフトウエア Aprikans.exe を起動します。

（２）「ＩＰアドレス」「ポート」欄に、ASZ-H802　に設定した内容を入力し、表示ボタンを押します。

現在の設定内容が上図の様に表示されます。

（３）ウオッチドッグ時間（単位　秒）を入力し、修正ボタンを押します。

（４）WDx_out ボタンを押すと、該当チャネルに対してウオッチドッグ・アクセスが行われます。

（５）Cx 出力状態　欄に、”1” または”ON” を入力して、修正ボタンを押すと、該当チャネルがＯＮします。

Cx 出力状態　欄に、”0” または”OFF” を入力して、修正ボタンを押すと、該当チャネルがＯＦＦします。

【３】アクセス方法

チャネル	アドレス
１　ウオッチドック	１９０１
２　ウオッチドック	１９０２
３　ウオッチドック	１９０３
４　ウオッチドック	１９０４
５　ＯＮ／ＯＦＦ	５０４
６　ＯＮ／ＯＦＦ	５０５
７　ＯＮ／ＯＦＦ	５０６
８　ＯＮ／ＯＦＦ	５０７

（１）ウオッチドック　２チャネルへのアクセス例

接続の手順	ＶＢの場合	Delphi の場合
１．Lan ﾎﾞｰﾄﾞへ接続	TcpClient.Connect	ClientSocket1.Active:=True
２．ｼｰｹﾝｻへ接続	TcpClient.SendData “CR” & Chr$(13) & Chr$(10)	ClientSocket1.Socket.Sendtext ‘CR’ + #13 + #10
３．ｺﾏﾝﾄﾞ送出	TcpClient.SendData “ST 1902” & Chr$(13) & Chr$(10)	ClientSocket1.Socket.Sendtext ‘ST 1902’ + #13 + #10
４．ｼｰｹﾝｻと切断	TcpClient.SendData “CQ” & Chr$(13) & Chr$(10)	ClientSocket1.Socket.Sendtext ‘CQ’ + #13 + #10
５．Lan ﾎﾞｰﾄﾞと切断	TcpClient.Close	ClientSocket1.Close

（２）ＯＮ／ＯＦＦ出力　６チャネルへのアクセス例

接続の手順	ＶＢの場合	Delphi の場合
１．Lan ﾎﾞｰﾄﾞへ接続	TcpClient.Connect	ClientSocket1.Active:=True
２．ｼｰｹﾝｻへ接続	TcpClient.SendData “CR” & Chr$(13) & Chr$(10)	ClientSocket1.Socket.Sendtext ‘CR’ + #13 + #10
３．ｺﾏﾝﾄﾞ送出	ＯＮする場合 TcpClient.SendData “ST 505” & Chr$(13) & Chr$(10) ＯＦＦする場合 TcpClient.SendData “RS 505” & Chr$(13) & Chr$(10)	ClientSocket1.Socket.Sendtext ‘ST 505’ + #13 + #10 ClientSocket1.Socket.Sendtext ‘RS 505’ + #13 + #10
４．ｼｰｹﾝｻと切断	TcpClient.SendData “CQ” & Chr$(13) & Chr$(10)	ClientSocket1.Socket.Sendtext ‘CQ’ + #13 + #10
５．Lan ﾎﾞｰﾄﾞと切断	TcpClient.Close	ClientSocket1.Close